

五月二〇日、千葉県幕張メッセに、全国のジオパーク関係者が一堂に会し、ジオパーク認定を目指す地域による公開プレゼンテーション（公開審査）が行われました。

今年度、日本ジオパークに申請をした地域は昨年の倍の一〇地域（世界ジオパークに申請したのは三地域）。地域振興の新たな取り組みとして全国に普及し、活動が活発になっています。



昨年より大きな会場が満席になるほど盛況でした

三陸ジオパーク構想のプレゼンテーションでは、現地で活動する人たちの声を伝えるため、体験村・たのはたネットワーク事務局長の楠田拓郎さんと、

樫の里大船渡ガイドの会の森里子さんにもお話いただきました。お二人が今まで取り組んできたことやジオに対する思いなどを熱く語っていただきました。



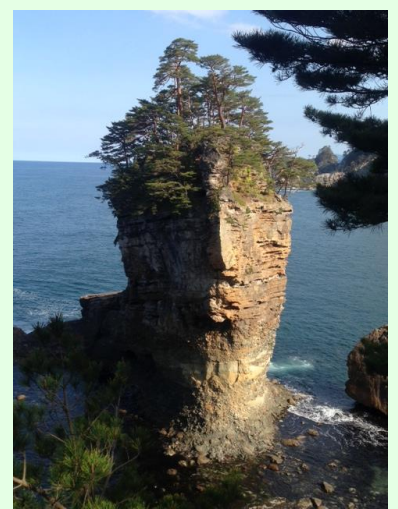
また、私たちのジオパークを学術面などでサポートしてくださっている、岩手大学の越谷信先生、岩手県立大学の伊藤英之先生が応援に駆け付けて下さいました！

発表中は「めざそう！世界の三陸ジオパーク」と掲げたのぼりとお揃いのジャンパーで、三陸ジオパーク構想をPRしました。

皆さま、

応援ありがとうございます！

今月の裏ジオポイント



おなじみ田老の三王岩（ジオサイト）、髪の毛のあるモアイ像に見えませんか？

三陸ジオパーク3分講座（久慈：夫婦岩編）

ちょっと自慢したくなる！



拡大

よく見ると、五角形の形が見えてくるよ！  
現地に行って確認しよう！

構想

あまちゃん（NHK連続テレビ小説）でおなじみの小袖海岸には夫婦岩という岩があります。

夫婦岩をよく見てみると、全体が五角形の柱状の岩が束になっているということがわかります。

これを柱状節理と言います。柱状節理は、マグマが冷え固まるときに収縮した歪みによる割れ目が形になって見えるものです。

これらは今から約一億年前の海底火山の噴火によってできました。かつて、この三陸海岸一帯に起きた激しい火山活動の様子を記録している場所となっています。

編集長の独り言

4月に着任し、右も左もわからないまま、申請書の提出、幕張での公開プレゼンと怒涛の日々でした。これから現地審査の準備を控えて気を抜けないところですが、並行して構成16市町村の皆さんとジオツアーのモデルコースづくりやジオガイドの養成を進めていきます。これからますます公用車の運転距離が増えそうです。

《ゆきだるまのつぶやき》

日々前へと進んでいく三陸ジオパーク。気が付けば公開プレゼンまで終わりました。後ろを振り向きたい気持ちもありますが、そのスピードに振り落とされないように頑張りますので、温かい応援をよろしくお願いいたします！

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町 1-20

宮古地区合同庁舎内

TEL : 0193-64-1230

FAX : 0193-64-1234

メール : [info@sanriku-geo.com](mailto:info@sanriku-geo.com)

URL : <http://sanriku-geo.com/>